



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2021年6月30日発行 第38号

令和3年度が始まり、本アカデミーの各講座も順調にスタートしているようです。音楽を中心に様々なことが学べる機会があると思いますが、何事も受け身の姿勢では効果があがらないことがあります。基本的な奏法を身に着けると共に、常に「なぜ」と疑問符を投げかけることが、自己をステップアップしてくれることと思います。そのためにも本アカデミーの環境づくりには、最新の配慮が必要と考えています。

◎ LPレコード音楽サロンが事業化！

今年度から、本アカデミーの事業として「LPレコード音楽サロン」が開催されます。ここ近年に至ってCDが主流の時代でありながら、アナログ録音のレコードが見直され、愛好家が増える傾向にあり、開催に拍車をかけることにつながりました。本アカデミーには、各方面から寄贈された多くのLPレコードが所蔵されていますので、今後の音楽サロンを魅力あるものにしていかなければと思うところです。



音楽サロンは基本的に隔月開催を目指し、6月から翌年の2月までの5回開催を計画しています。今年のテーマは、「まだまだベートーヴェン生誕250年！」と題し、ベートーヴェンの作品を中心に鑑賞計画を立てています。

第1回は先般実施し、定員の25名が満席になるという盛況ぶりでした。プログラムは、中井芸術監督によるミニ講座から始まりました。ベートーヴェン像に迫る資料を作成され、分かりやすい解説と今回のメイン曲につながるエピソードなど、参考曲を聴きながら充実した時間を過ごすことが出来ました。そして、今回のメイン曲「交響曲第3番変ホ長調」《英雄》をジョージ・セル指揮でクリーブランド管弦楽団の演奏を鑑賞しました。

オーディオ機器は、本アカデミー所蔵のスピーカーを中心にオーディオショップ・フクダ様（松江市）のご厚意でアンプを提供していただき、プレーヤーとカートリッジは、音楽愛好家の牛尾尚義氏から提供をしてくださいました。多くの方のご支援により充実した音楽環境が整い、当音楽サロンが開催されましたことに感謝いたします。

今回の音楽サロンでは、アンケートを実施いたしましたので、一部を紹介します。

Q1 本アカデミーへのメッセージ

《良かったところ》

- ◆このような音楽空間と貴重な時間を設けてくださり感謝です。LPで聴くベートーヴェン最高！中井先生、ミニ講座ありがとうございました。7/24のコンサートも楽しみです。
- ◆今回初めての参加です。通常のコンサートのプレトークでは、5～10分程度ですが、今日はたくさんお話していただき、ベートーヴェンについて知ってから曲を聴くことが出来ました。また、レコ

裏面へ

ードで聴くこと自体初めてで、レコードの重厚さを感じられてとても良かったです。

◆LPレコードは懐かしくもあり、改めてクオリティの良さを感じました。スピーカーも良く臨場感がありました。中井先生のご説明で、今まで知らなかったことをいろいろ気付くことができました。出雲の音楽教育の機会、市民と音楽の近さは、全国の中でも素晴らしい類と思います。出雲芸術アカデミーで築かれた文化が今後とも継承されることを願っています。

◆美しい音と迫力、こんなレコード演奏を聴いたのは初めてでした。素晴らしい一時でした。

《気になるところ・改善してほしいところ》

◆スピーカーとアンプの組み合わせで好みに差が出るようです。

◆レコードの状態にもよりますが、弦がピリついて高音がきつく感じたのが残念でした。

◆ミニ講座で、鍵盤楽器があれば説明も具体的に伝わると思う。リアスピーカーも考えたらどうか。

◆なぜ、LPレコードコンサートなのか…？LPが多数あるため？ミニ講座はちょっと難しかった…。

◆2楽章のTimpのCの音がボンボン鳴っていたのは気になります。

Q2 80歳代2人、70歳代7人、60歳代11人、50歳代2人。20歳代1人

Q3 初参加15人、2回目8人 Q4 市内から22人、県外から1人

Q5 とても良かった12人、良かった8人、無回答3人

アンケートは、25名参加中23名の方に回答していただきました。皆様の感想から、励ましの声かけを沢山いただき、今後のコンサートを開催するにあたって、遣り甲斐を強く感じさせていただきました。また、課題となるご意見も寄せていただき、参加者の皆様の声は宝物と心得、今後の音楽サロンに生かしていきたいと思っております。

◎ 新理事長による視察が行われる！

出雲市芸術文化振興財団の江田理事長が退任され、新理事長として槇野信幸氏が着任されました。槇野新理事長は、出雲市の財政部長などを歴任後、教育長を最後に昨年3月に市役所をご退職された方です。出雲市の財政面や教育を熟知されており、当財団にとっても心強い存在となることと思っております。

出雲市芸術文化振興財団は、事務局を出雲市民会館に置き、文化事業部、各会館（ビッグハート出雲・平田文化館・大社文化プレイスうらら館・出雲文化伝承館・平田本陣記念館）が並列の組織として存在しています。出雲芸術アカデミーは、文化事業部の組織内にあり、理事長は、これらの財団組織のトップということになります。

その新理事長が、先日、本アカデミーを視察に来訪されました。丁度、講座では本科のシンフォニーオーケストラ（SO）とベーシックオーケストラ（BO）が開講されていたので、実際に見学していただいたところでした。出雲市の音楽を愛好する青少年の熱心に練習する姿を間近に拝見され、感心されていました。その後、新理事長を囲み、中井芸術監督をはじめ、本アカデミーの役員の方々との懇談を行い、これからの芸術アカデミーのあり方について協議が行われ、充実した意見交換の場になりました。



【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】